

後藤匠氏提出資料

今の学習・学校に馴染む、「AIによる個別最適化機能付きデジタル問題集」

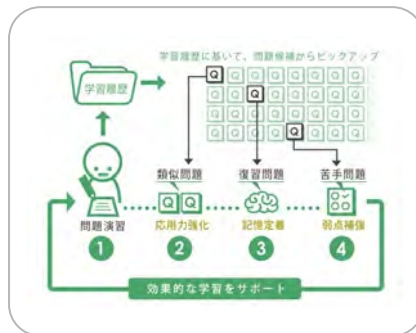
- スマートなデジタル問題集「Libry(リブリー)」
 - 2012年創業のEdTech(Education + Technology)スタートアップ
 - 教科書会社等の出版社と提携し、既存の教科書・問題集をデジタル化
 - 「デジタルとアナログのベストミックスだ」と学校で好評、全国500校以上(※)に提供
 - 学習履歴に基づき、AIで、個別最適化された問題を提示
 - 宿題管理業務の効率化により、教員の業務負荷軽減を実現(1日2時間以上削減)



教科書・問題集を電子化



従来の学習に馴染む



AIによる個別最適化



宿題管理を効率化

※トライアルでの提供を含む

一斉休校に対応し、EdTech各社が支援を開始。EdTechへの期待が高まる

● 当社の一斉休校の取り組み

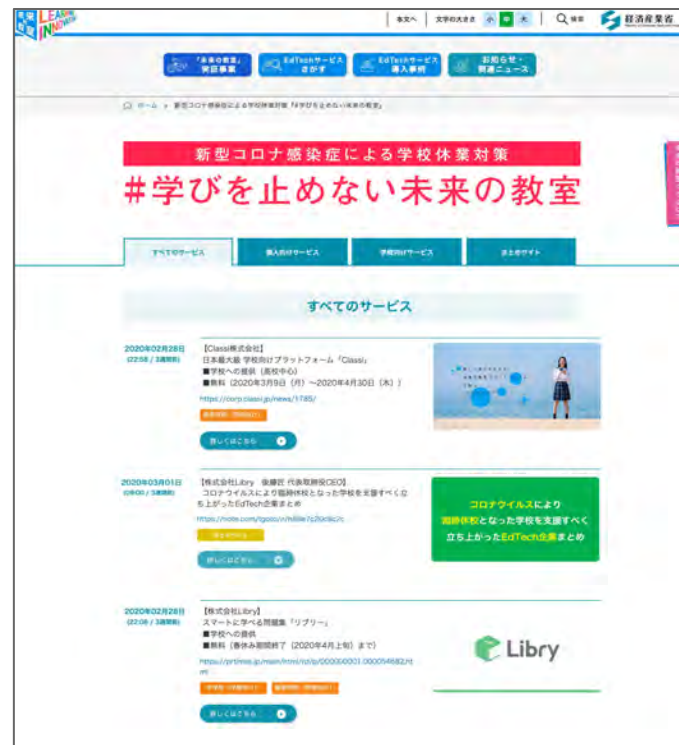
- 通常は月額利用料なしで、コンテンツを1冊ごとに買い切りで購入
- 一斉休校に対し、一部コンテンツを無償提供
- 休校通知の翌日(2/28)から支援開始
- 支援の取り組みは、経産省HPでも紹介

● EdTechに対して、社会から称賛と期待の声

これだけのひとたちが自分に、自分たちができる事を！と考えて行動していることを知れるだけで
元気出てくる！

子供の学習ツールの無償解放などにこのタイミングで取り組むテック企業サービスありがたい限り。
恩は忘れない。

今回をきっかけにEdTechが注目されている。
 個人的には**たんなる注目**で終わらせないで欲しい。



一斉休校対応の支援を行った EdTechを紹介する
 経産省の「**学びを止めない未来の教室**」でも紹介

- **GIGAスクール構想の早期実現に向けた対応強化**
 - **災害は待ってくれない**。1年でも早くネットワークや端末の整備を！
 - 病気や不登校など、**学校に通えない個人の学び**を止めてはいけない！
- **端末の「持ち帰りを前提」としたルール整備や支援拡大**
 - 家庭への持ち帰りができないと、災害時対応などは意味がない。
 - **学びの場は学校だけではない**。家庭でも「学び続けられる」環境が必要。
 - 「自治体・学校の判断」となっているが、**持ち帰りを前提とする方針の決定**を！
 - 家庭の通信環境について、**LTE等の支援対象の拡大**等の対応を！
- **EdTech導入に関する経済的支援の強化**
 - 端末の導入をただけでは意味がない。教育を変えるためにも **EdTech導入支援強化**を！